

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.11 2013年6月15日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2013 CNA Report Japan. All rights reserved.

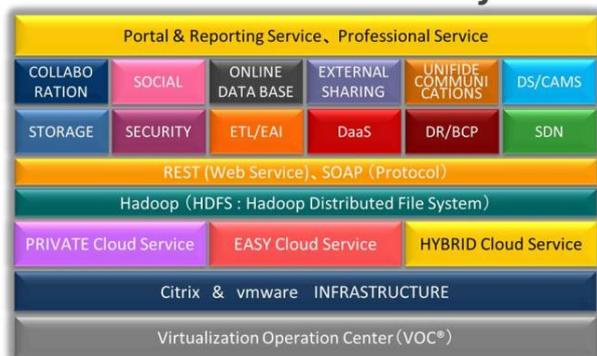
製品・サービス動向-国内

アイネット、クラウド型 HD ビデオ会議サービスを開始

株式会社アイネット(横浜市西区)は、同社が4月から提供しているクラウド型 HD ビデオ会議サービス「Mobile Meets」の提供を6月1日より開始する。(5月29日)

Mobile Meet は、同社が4月から開始しているクラウドサービス「Dream Cloud」上にて提供される。クラウドサービスのため、顧客側で専用機や MCU の設置が不要だが、HD に対応しているとともに、PC やスマートフォン/タブレットでもビデオ会議が行える。H.264SVC に対応しているため、パケットロスが 20%程度になってもブロックノイズの発生を抑えることができる。

Dream Cloud Service Portfolio



Mobile Meet が提供される Dream Cloud サービスポートフォリオ(アイネット 資料 4月25日 Dream Cloud 発表より)

ボイスチャット、ビデオ会議、1対1でのコミュニケーション、複数参加者間でのコミュニケーションができる。加えて、多言語に対応しており、画面共有や録画/配信などの機能もあり、アプリケーション連携も可能だ。

利用料金については、2同時接続が初期費用24,000円、月額費用18,000円となっている。そのほか5同時接続、10同時接続、20同時接続がある(詳細は同社に確認要)。

また、オプションサービスとして、録画用ストレージも提供する。10GBが初期費用20,000円、月額費用が10,000円。そのほか20GB、50GB、100GBがある(詳細は同社に確認要)。他システムとの接続やオンプレミス環境構築については個別見積となっている。

今後は、同じく同社が提供しているポータルサイト「Dream Office」との連携により、会議予約から資料の共有、録画会議の共有まで、シームレスなユニファイドコミュニケーションを提供するという。

アイネットは、1971年設立。データセンタとクラウドコンピューティングを展開する独立系ITサービスプロバイダー。

エス・アンド・アイ、iPadを活用したビデオ会議サービス取り扱いと、オンラインストレージ・遠隔消去サービスを組み合わせた「コラボレーションパック」の提供を開始

エス・アンド・アイ株式会社(東京都中央区)は、オリックス・レンテック株式会社(神奈川県横浜市)が提供しているビデオ会議サービス「Avaya Flare Experience Cloud Service」の取り扱いを5月27日から開始。(5月27日)

Avaya Flare Experience Cloud Service は、iPadから手軽に利用できるビデオ会議サービス。オリックス・レンテックが昨年12月10日よりサービスを開始しているもの。

本サービスの取り扱い開始に伴い、エス・アンド・アイから既に提供している容量無制限のオンラインストレージサービス「sactto!ファイリング」、iPadの盗難・紛失の遠隔消去サービス「sactto!リモートワイプ」を合わせて利用する顧客向けに「コラボレーションパック」を提供する。

利用価格:Avaya Flare Experience Cloud Service のみの場合は、月額7,000円(税別)。ただし、年間契約および最小契約数 2ID からとなっている。一方、ビデオ会議サービスに

sactto!ファイリングと sactto!リモートワイプをセットにしたコラボレーションパックの方は、月額 7,800 円/ID(税別)。



Avaya Flare Experience Cloud Service 画面例
(エス・アンド・アイ 資料)

コラボレーションパックは、以下の販売代理店を通じて販売する。インフィニティコミュニケーション株式会社(東京都渋谷区)、オリックス・レンテック株式会社(神奈川県横浜市)、ソフトバンク BB 株式会社(東京都港区)。

エス・アンド・アイは、サーバ・ネットワークの統合/仮想化、IP テレフォニー、コンタクトセンターのシステム構築、センサーネットワーク、各種ミドルウェア・アプリケーションの開発といった ICT 基盤の設計・構築・運用・保守まで総合的なソリューション提供を行っている。

同社は、VMware 社からは「VMware エンタープライズ・パートナー」、また日本 IBM からは、「System x スペシャルティ」「System Storage スペシャルティ」「IBM PurePex and Flex System スペシャルティ」の認定を受けている。

関連: 定期レポート 2012 年 4 月 30 日号(日本アビア&オリックス・レンテック提携)、2012 年 12 月 15 日号(Avaya Flare Experience Cloud Service 開始)

ブイキューブ、「V-CUBE セミナー」のユーザーインターフェイスを刷新、アンケート機能、高画質対応、エコキャンセラー機能の強化も株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、Web セミナーサービス「V-CUBE セミナー」のアップデートを行った。

(6 月 6 日)

今回のアップデートは、Web セミナーの主催者側と受講者側の両者における双方向性を高める内容となっている。サービス提供開始から累計 800 万回以上の視聴実績がある中で、利用企業や実際に活用された講師や受講者など顧客から寄せられた声と年間およそ 2 万回の Web セミナー配信経験をもとに、改良点を徹底して洗い出し、今回機能強化を行った。



UIを刷新し、機能強化した「V-CUBE セミナー」

ユーザーインターフェイスを刷新し機能強化を行った
(ブイキューブ資料)

新しく追加された表示レイアウト



テキストチャットエリアが最大化になるレイアウト

プレゼンテーションレイアウト

新しく追加された表示レイアウト(ブイキューブ資料)

(1)視認性と操作性を高めたシンプルなユーザーインターフェイス:画面に表示される機能ボタン数を減らし、セミナー資料を表示するホワイトボードエリアや、主催者と受講者間の文字コミュニケーションで利用するテキストチャットエリアを拡大したり、表示レイアウトのパターンを追加したりすることで、より双方向性の高いセミナーを実現し、利用シーンや利用者の好みに合わせた選択ができるようになった。

(2) 双方向コミュニケーションを促進するアンケート機能の

増強: 回答方法の選択の幅を増やしアンケートの柔軟性を高めた。主催者は、2 パターンの回答方法を自由に設定できるだけでなく、設定したクイックアンケートの質問内容を受講者に表示できるようになった。

また、アンケートは Web セミナー開催中に何回でも実施できるだけでなく、結果もすぐに確認できるようになった。これにより、受講者の理解度や傾向を確認しながら、さらに効率的な Web セミナーの運営が可能になる。

(3) H.264 高画質対応: 高画質な映像で配信が可能となる。映像・音声の国際標準規格 H.264 に対応した。

(4) エコーキャンセラー機能の強化: 受講者が映像や音声を利用して発言する場合に、より快適に受講できるように、エコーキャンセラー機能を強化した。

プリンストンテクノロジー、オールインワンビデオ会議システムを発売

プリンストンテクノロジー株式会社(東京都千代田区)は、オールインワンビデオ会議システム「コンパクトビデオ会議ステーション」を発売すると発表。(5月21日)



コンパクトビデオ会議ステーション(プリンストンテクノロジー 資料)

コンパクトビデオ会議ステーションは、ポリコム社の「Polycom RealPresence Group 300/500 シリーズ」と、プリンストンテクノロジー製の白色 LED バックライト搭載ワイド液晶ディスプレイに、2.0ch ステレオスピーカーを付属したオール

インワンビデオ会議システム。

Polycom RealPresence Group 300/500 シリーズを 23.6/21.5 インチ白色 LED バックライト搭載ワイド液晶ディスプレイの背面に搭載することで一体化している。

バックライトに白色 LED を搭載することで、コンパクトな筐体デザインを可能にし、従来の CCF バックライトモデルに比べて大幅な省電力化を実現している。また、5/1000 秒の応答速度や最大 10 万:1 の高コントラストにより、画像の明・暗部の細やかな快調までを鮮明に再現できるため、高品質なビデオ会議が行えるという。

一方で、付属するステレオスピーカーは、最大実用出力 3W(1.5W+1.5W)、クリアで広がりのあるサウンドを実現しているところに特長があるとしている。スピーカーは設置スペースに合わせて、縦置き、横置きに変更可能。

なお、コンパクトビデオ会議ステーションは、「Polycom SmartPairing」技術により、iPad からでもビデオ通話の発信および管理をすることができるようになっている。これは、Polycom RealPresence Group 300/500 シリーズから搭載されているポリコム社の技術。

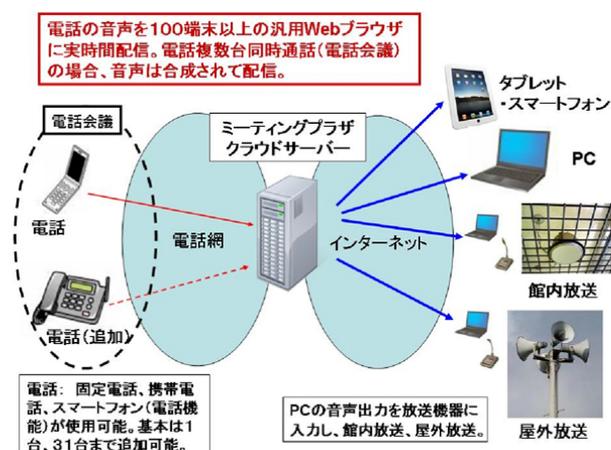
販売するモデルは、「RealPresence Group 300-720 EagleEye Acoustic カメラモデル」、「RealPresence Group 500-720 EagleEye Acoustic カメラモデル」、「RealPresence Group 500-1080 EagleEye Acoustic カメラモデル」の 3 モデルに、それぞれ液晶サイズ 23.6/21.5 インチいずれかを選択できるようになっている。オープン価格となっている。

プリンストンテクノロジーによると、コンパクトビデオ会議ステーションは、オフィスやデスク、ミーティングスペースなどで高品質なビデオ会議を手軽に始めることができるという。

NTT アイティ、電話の音声を 100 台以上の PC・タブレット・スマートフォン等に一斉配信するサービスを開始

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、携帯電話や固定電話を利用して、インターネット経由で 100 台以上の PC・タブレット・スマートフォンなどに一斉配信するクラウドサービス「ミ

「ミーティングプラザ電話 Web 同報サービス」を 6 月 3 日より発売。(5 月 21 日)



ミーティングプラザ電話 Web 同報サービス (NTT アイティ資料)

ミーティングプラザ電話 Web 同報サービスは、複数の携帯電話や固定電話、スマートフォン(電話機能)から発せられる音声をミーティングプラザサーバで受信しそれらを合成し、その通話音声をインターネット経由して、複数の PC・タブレット・スマートフォン等に搭載されている汎用ブラウザへリアルタイムに配信するというサービス。

発信側は、特定の電話番号と識別番号を入力することにより、電話音声をリアルタイムに一斉配信することができる。一方、受信側は、汎用ブラウザにて受信できるため受信するための特別のソフトを必要としない。

野外や車中からでも情報発信が可能のため、災害時や緊急時でも詳細で正確な情報配信が簡単に可能となる。利用用途としては、社内の業務連絡、電話会議模様の Web 配信、イベントの実況中継、幹部講話などのほか、災害時や緊急時の現場からの緊急連絡にも使える。加えて、受信側の PC の音声出力を放送機器に入力し、館内放送・野外放送といった形でも活用できる。

表1 ミーティングプラザ電話Web同報サービスの価格(税別)

	基本構成	追加オプション
発信側電話接続数	1接続	オプション価格(31接続まで追加可能)
受信側Webブラウザ接続数	10接続	オプション価格(100接続以上追加可能)
価格	初期費用: 30,000円 月額基本料金: 20,000円 (電話料金は別途必要)	上記の合計

基本構成・追加オプションの価格 (NTT アイティ 資料)

このサービスの基本構成では、1台の電話機を発信端末として、合計 10 台の PC・タブレット・スマートフォンを受信端末とすることができる。また、追加オプションで、発信側電話機は合計 31 台まで、受信端末は 100 台以上追加することが可能となっている。増設は、電話 1 台、Web ブラウザ 1 単位となっている。

なお、発信側では、050 の番号を利用すれば通話料金は無料となる。無料電話が可能な IP 電話は、OCN および OCN 無料通話先プロバイダ約 260 事業者の IP 電話。

NTT アイティは、年間 100 サービスを販売目標としている。

ミーティングプラザは、3000 社を越える導入実績を持つ Web 会議で、今回発表されたミーティングプラザ電話 Web 同報サービスは、2013 年 1 月に開始した「ミーティングプラザ PLC サービス」のユーザより「音声を配信するサービスを提供してほしい。」という要望をベースに開発化し、今回製品化されたもの。

ミーティングプラザ PLC サービスは、Windows PC から Web 会議参加者の手元の iPad、iPhone、Android 端末、WindowsPC、Mac 等に会議資料と会議音声を配信するサービス。

メディアプラス、revolabs 社のワイヤレス音声会議システム「FLX」の日本国内販売開始

株式会社メディアプラス(東京都千代田区)は、revolabs 社のワイヤレス音声会議システム「FLX(フレックス)」の日本での販売を 5 月 14 日より開始した。(5 月 22 日)

1.9Ghz デジタルワイヤレスマイクのメーカーとして、フラッグシップ製品「Executive HD」が日本でも好評を得ているという。今回発表された FLX は、Revolabs 社の新製品となるワイヤレス音声会議システム。

アナログ電話回線や VoIP 接続(SIP)を使用して、ワイヤレスマイクとワイヤレススピーカを使った音声会議が可能で、従来の有線による音声会議システムで問題となることが多かったテーブル上の配線をすっきりとなくし、会議室のレイアウト

変更にも柔軟に対応できるようになっている。ワイヤレスは、暗号化通信によりセキュリティに対応している。



「FLX (フレックス)」revolabs ワイヤレス音声会議システム (メディアプラス 資料)

また、音声入出力端子を使用すれば Web 会議やビデオ会議システム用のマイク・スピーカとして利用できる。さらに、Bluetooth 機能によってスマートフォンでの手軽な音声会議も行えるという。

FLX は、2 本のワイヤレスマイクとワイヤレススピーカ、ダイヤラーのセット。標準価格は、アナログ回線モデル (10-FLX2-XXX-POTS-JP) が 170,000 円 (税抜き)、VoIP モデル (10-FLX2-XXX-VOIP-IP) が 186,000 円 (税抜き)。また、ワイヤレスマイクは、無指向性バウンダリマイク、施工性バウンダリマイク、ウェアラブルマイク (タイピン型マイク) の 3 種類。FLX 本体とマイクの組合せで 4 パターンの製品を用意している。

型番	特徴
10-FLX2-200-XXX-JP	FLX2 システム、無指向性バウンダリマイク 2 本付き
10-FLX2-020-XXX-JP	FLX2 システム、指向性バウンダリマイク 2 本付き
10-FLX2-008-XXX-JP	FLX2 システム、ウェアラブルマイク 2 本付き
10-FLX2-101-XXX-JP	FLX2 システム、ウェアラブルマイク 1 本、無指向性バウンダリマイク 1 本付き

(価格はすべて同じ、XXX にはアナログ版：POTS、VOIP 版：VOIP が入ります)

(メディアプラス 資料)

「小規模の会議室での音声会議用途や、設備工事の難しい会議室における Web 会議・テレビ会議の音声拡張に最適な製品だ。また、ウェアラブルマイクを使用すれば講師が動き回る遠隔授業にも有効だ。海外においては、すでにホテルや企業、学校、官公庁などで導入されている。」

(メディアプラス)

ポリコムジャパン、日本市場向けにビデオ及び音声ソリューションの提供開始

ポリコムジャパン株式会社 (東京都千代田区) は、日本市場向けにビデオ会議システム製品の提供を開始すると発表。これらの製品は昨年秋に発表されたもの。(発表: 4 月 24 日、取材: 5 月 17 日)

提供開始の製品は以下の通り。(1)ハイエンド HD ビデオ会議システム「Polycom RealPresence Group 700」。(2)ビデオ会議用カメラ「Polycom EagleEye Acoustic カメラ」。(3)オールイン型ビジネス メディア フォン「Polycom VVX 600」。(4)USB 接続対応 Polycom VVX500/600 用カメラ「Polycom VVX カメラ」。(5)PC 用音声会議ソリューション「Polycom SoundStation Connect」。

(1)Polycom RealPresence Group 700: ユーザの行動動向に基づき再設計されたユーザーインターフェイスほか、高性能な映像処理技術と柔軟な入出力オプションを備えた点が特長。

会議室や講堂などで大規模会議室向け。最大 1080p60fps に対応 (映像&コンテンツ)。内蔵 MCU は、SD 画質で自局を含め最大 8 拠点、HD 画質では最大 4 拠点の多地点会議を可能とする。また、タブレットからワイヤレスで操作することができる「Polycom Smart Paring」技術にも対応している。

「HDX シリーズではできなかったところをフォローする形で製品化した。」(ポリコムジャパン)

(2)Polycom EagleEye Acoustic カメラ: Group シリーズ用に設計されており、Polycom EagleEye Acoustic カメラシリーズに新たに追加されたもの。

Polycom EagleEye Acoustic カメラは、1080p30fps に対応しており、オートフォーカス機能やステレオマイクを搭載している。小規模会議室に適しているとしている。

なお、カメラシリーズにはほかに、1080p60fps に対応した「EagleEye III」、カメラ 2 台を搭載した「EagleEye Director」がある。

(3) Polycom VVX600: オールインワン型ビジネス メディアフォン。役員や管理職、ナレッジワーカ向けに設計されている。

4.3 インチ液晶カラー マルチ タッチディスプレイ(解像度 480 x 272 ピクセル)や Polycom HD Voice 技術などを搭載。他社製の UC アプリケーションや業務支援アプリケーションとも統合(API 提供)できる。シンプルなワンタッチ操作で、カレンダー、アドレス帳などの表示と管理ができる。Bluetooth ヘッドセット使用も可能。なお、H.323 や SIP のほか、「Microsoft Lync」との相互運用性も確保されている。

(4) Polycom VVX カメラ: プラグアンドプレイ USB 接続対応のカメラ。Polycom VVX シリーズ用に最適化されており、720p の解像度で個人用のビデオ会議を行うことができる。

(5) Polycom SoundStation Connect: 小規模から中規模の会議室に適した USB 接続式の音声会議ソリューション。Polycom HD Voice 技術搭載。Mac や Windows、Linux 対応の UC ソフトフォン(Microsoft Lync、IBM Sametime、Skype、GoogleTalk など)のマイクおよびスピーカとして使用できる。

これら製品の提供は、ポリコム認定販売代理店を通じて4月24日より提供開始となっている。価格はオープン。

関連: 定期レポート 2012 年 12 月 15 日号

ポリコムジャパン、日本市場向けにビデオ会議プラットフォーム提供開始

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、日本市場向けにビデオ会議プラットフォームの提供開始を発表。これらの製品は昨年秋に発表されたもの。(発表: 5月14日、取材: 5月17日)

提供開始されたビデオ会議プラットフォームは、以下の通り。(1)「Polycom RealPresence Collaboration Server 800s, Virtual Edition」、(2)「Polycom RealPresence Access Director」。

(1)「Polycom RealPresence Collaboration Server 800s, Virtual Edition」: Intel サーバで使用できる統合ソフトウェア

ベースの MCU。H.323、H.320、PSTN、SIP といった通信プロトコル、また、SVC、RTV、TIP などのコーデックをサポート。マイクロソフト Lync についてはゲートウェイを介することなくネイティブに接続ができる。

そのほか、H.264 ハイプロファイルや LPR などポリコムテクノロジーを継承しつつ、他の DMA、RM、RSS、VP などのポリコムソリューションとの連携や拡張もできる。

(2)「Polycom RealPresence Access Director」: ファイアウォールトラバーサルソリューション(SIP/H.323 セッションボーダーコントローラ)。リモートアクセスなどファイアウォール内外にいるユーザが組織内のユーザとセキュアにビデオ会議を行えるようにするもの。最大 1000 セッション、合計1Gbps のビデオ会議接続をサポートする。

これら 2 製品の提供は、ポリコムの認定販売代理店を通じて5月14日より提供開始となっている。価格はオープン。

一方、ポリコムジャパンによると(5月17日)、「Polycom RealPresence CloudAXIS Suite」の日本提供開始時期については未定という。

VQS マーケティング、「VQS コラボらくらくクラウドパック」を発売

VQS マーケティング株式会社(京都市南区)は、Web 会議・遠隔授業システム「VQS コラボらくらくクラウドパック」を5月20日にリリースした。(5月21日)

VQS コラボらくらくクラウドパックは、VQS コラボの映像・音声配信、資料管理を行うソフトウェア(ルームソフト)を、同社が契約している大手データセンターで管理・運営するサービス。

利用申込後、インターネットに接続できるパソコンにクライアントソフトをインストールし、月額利用料金を支払うことで利用できる。

このクラウドパックによって、従来、VQS コラボを導入する際に必要であった設置作業を簡略化することができ、簡単そしてスピーディに VQS コラボの利用を開始することができる。ルームソフトの管理を同社が行うため、機器や回線の管理コスト

を節約したり、また、安心して利用できると同社では説明している。

価格について(一例)。「らくらくクラウドパック Light」(同時接続数 3): 初期費用 40,000 円(税別、以下同)、月額費用 19,800 円。「らくらくクラウドパック」(同時接続数 6): 初期費用 40,000 円、月額費用 59,800 円。帯域は、150kbps まで利用できる。

なお、コストを抑えて導入したい、または、ルームソフトを自社管理・運営したいという要望に対しては、従来通りのサービスを提供するとしている。

製品・サービス動向-海外

Aver Information 社、SMB 企業を想定した 7,500 ドルを切る 10 ポート搭載のテレビ会議 MCU 発売

米 Aver Information 社(本社:台湾)は、7,500ドルを切る 10 ポート搭載のテレビ会議多地点接続装置(MCU)「EMC1000」の発売を発表した。(5月8日)

EMC1000 は、小規模から中規模企業向けに開発。同社によると、これまでテレビ会議に関するインフラ装置(MCU やゲートキーパ、サーバ各種)は、大企業などに限られていたところがあり、この EMC1000 によって、小規模の企業でも導入しやすいことを狙い開発したと説明している。

EMC1000 では、パソコン、スマートデバイス(iOS) 端末がテレビ会議に参加することを可能にする「Aver EZMeetup App」を提供。これにより、クライアントやパートナー、あるいは遠隔地に出張している同僚などが、EMC1000 の多地点テレビ会議に参加することができる。その際は、事前の予約も必要なく、テレビ会議室(video meeting extension)をダイヤルするだけで会議に簡単に入ることが可能。

一方、運用管理の面では、web インターフェイスを提供。この画面から、会議参加者をモニターしたり、参加者を追加したり、映像もしくは音声のミュート、画面レイアウトオプションの変更、映像品質のモニターなどがおこなえるように

なっている。

なお、EMC1000 はすでに販売開始されており、価格(北米)は、7,499.99ドル(MSRP)。

Tely Labs 社、オールインワンヘルスケアソリューションを発表

米 Tely Labs 社は、オールインワンヘルスケアソリューション「telyMed MTS-100 Mobile Station」を発表。(5月6日)

telyMed MTS-100 Mobile Station は、telyHD ビデオコーリング機能、ソフトウェアサービス、HDTV スクリーン、バッテリー、Wi-Fi などの機能をひとつのワークステーションに収納したプラグアンドプレイ型のシステム。顧客のニーズに応じてカスタマイズ可能。ヘルスケアソリューションとしては第一弾の製品となる。

病院など医療機関では、コストを抑えながら効率的な医療サービスの提供を行うことを期待されており、そういった中で医療サービス向けのソリューションへの要望が高まっていた。しかし、こういったソリューションはこれまで高価でまたテレビ会議システムの操作も煩雑だったという。そこで Tely Labs 社が今回導入敷居をさげる低コストの telyMed MTS-100 Mobile Station を発表した。

医療サービスがなかなかゆきとどかない地方や僻地などを含め、患者のどこからでも専門家によるリアルタイム映像による診察(video consultation)を受けられるようになるという。

なお、本製品を、アメリカ遠隔医療協会(American Telemedicine Association)主催 ATA 2013 (5月5日から7日、テキサス オースチン)会場にて展示している。

myVRM 社、カンファレンス スケジューリングソフトウェア「myVRM」の新しいバージョン V2.9 を発表、新しい UI、日本語対応、テレビ会議クライアント機能など追加。

米 myVRM 社は、カンファレンス スケジューリング ソフトウェア「myVRM」の新しいバージョン V2.9 をリリースした。(5月9日)

mVRM は、社内などの会議室の予約とテレビ会議の予約を、費用管理など付帯的な情報も含め、一元的に管理できるソフトウェア。NATO や Northrop Grumman 社などに採用されているほか、マネージドサービスプロバイダー多数にサービスのバックボーンとして採用されており、毎週 20,000 会議が同ソフトウェアによって予約処理されているという。

今回の新しいバージョン V2.9 によって、VNOC 向けの機能拡張、CDR データの強化(「Cisco 8170 Telepresence Blade」「ScienceLogic EM7」などコールモニター・マネージメント機能強化)、言語対応(スペイン語、イタリア語、フランス語、日本語。ポルトガル語と中国語も予定。)など多数機能改善を行いつつ、新しいユーザーインターフェイスを採用した。加えて、新たに「Desktop Video Client Center(デスクトップ ビデオ クライアント ソフトウェア)機能を追加。

V2.9 のリリースは、6 月 10 日予定となっている。

ビジネス動向-海外

iotum 社、電話会議サービスなどを手がける Global Conference Partners 社を買収

iotum 社(カナダ、トロント)は、電話会議サービスなどを手がける Global Conference Partners 社を買収したと発表。買収金額は非公開。(5 月 15 日)

iotum 社は、Califlower という名称の電話会議サービス(2007 年開始)やコラボレーションサービスを提供する企業(2006 年設立)。一方、Global Conference Partners 社は、プライベート・エクイティ・ファンド American Capital 社(NASDAQ: ACAS)のポートフォリオ企業。FreeConference.com、InstantConference.com、GlobalConference.com といった電話会議サービス事業を展開している。

買収による拠点(米カリフォルニア州)や社員の変更はないという。これまでどおり、Califlower サービスも並行して提供していくとしている。iotum 社によると、買収は Califlower サービスを補完・強化するものと位置づけている。

DEKOM 社のマネージドサービス、VQ Communications 社のテレビ会議サービスデリバリーツールを採用

英 VQ Communications 社は、テレビ会議サービスデリバリーツール(videoconferencing service delivery tool)が、ドイツのオーディオビジュアルシステムインテグレータ DEKOM AG 社のマネージドサービスに採用されたと発表した。(5 月 16 日)

DEKOM 社のマネージドサービス「DEKOM MCU」は、モバイルからクラウドサービス、オンプレミスに対応し、テレビ会議ソリューションを提供する。

一方、DEKOM MCU に採用された VQ Conference Manager は、多数の MCU を設置した大規模テレビ会議導入の運用管理を従来の同システムよりも効率化することを目的としたシステム。

提供する機能としては、テレビ会議の開始、スケジューリング、モニター、マネージメント、レポート。また他システムとの統合するための API を提供しており、VQ Conference Manager ともう一方のシステムが連結することでさらにスケーラブルなシステムを構築できるとしている。

Blackboard 社のオンラインコラボレーションプラットフォームが Android に対応

教育機関向け総合プラットフォームを提供する Blackboard 社は、同社のオンラインコラボレーションプラットフォーム「Blackboard Collaborate(ブラックボードコラボレート)」が、これまでの iPad や iPhone ならびに Kindle Fire HD に加え Android スマートデバイスに対応した。(5 月 8 日)

Android 版は Google Play や Amazon Appstore for Android で無料入手できる。スマートデバイスからも、ホワイトボード、プレゼンテーションといった Web 会議セッションを視聴できるようになるとともに、チャットや音声での会話(VoIP もしくは電話)、さらには、アンケート(survey)、インストラクター(発表者)に挙手、個別のミーティング(breakout rooms)への参加、録画されたクラスやプレゼンテーションの視聴、などさまざま

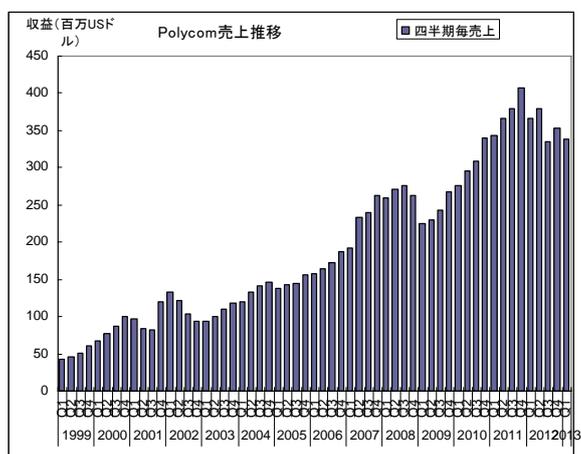
な機能が利用できる。

その他、プラットフォーム自体の強化の部分では、チャット機能や障害をかかえた学習者がよりよくアクセスできるような機能強化をおこなっている。

学習においては Blackboard Collaborate のようなインストラクターとのライブでインタラクティブな学習を可能にするツールが欠かせないという。加えて、モバイルアプリに対応することで、学習者の出席率も向上できると同社では期待している。

決算発表-海外

米ポリコム (2013年1月-3月期)



2013年度第1四半期連結売上高は、3億3,900万ドルで前年同期の3億4,600万ドルから2%減となった。一方、非GAAP純利益においては、2012年度第1四半期の3,500万ドルであったが、2013年度第1四半期では2,300万ドルとなった。

地域別では、北アメリカ・ラテンアメリカ地域では、全体の売上の51%、欧州・中東・アフリカ地域(EMEA)が26%、アジア太平洋地域は23%だった。対前年比において、EMEAとアジア太平洋では減少だったが、アメリカ地域は3%の増加を記録している。

一方、製品別では、「UCグループシステム」が2億3,240万ドル。「UCパーソナルデバイス」が4,930万ドル。「UCプラットフォーム」が5,710万ドル。

なお、非継続事業として区分されたポリコムの企業向けワイヤレスソリューション(EWS)事業を反映し、修正されている。

2013年第1四半期のハイライト:(1)Microsoft Lync 2013との相互接続性。(2)Sentri社の買収完了。Sentri社は、Premier Support for Lync Partners(PSLP)としてMicrosoft Lyncとポリコムソリューションの統合実績が豊富にあるとしている。(3)「Polycom RealPresence Content Sharing Suite」。

Lyncユーザがポリコムビデオ会議端末ユーザとコンテンツ共有を行えるようにするもの。(4)「Polycom RealPresence CloudAXIS Suite」の出荷を開始。日本市場については未定となっている。(5)「Polycom Video SmartStart」の開始。ポリコム製品群を全て含み、コスト的にも手頃で簡単に導入できるソリューション。(6)「Polycom VVX 300」「Polycom VVX 400」ビジネスメディアフォンの発表。(7)音声会議ソリューション「Polycom SoundStation Connect」の発表。(8)米AT&Tとの戦略的提携。AT&Tのテレプレゼンスビデオインフラの一部としてポリコムのPolycom RealPresenceプラットフォームを採用。40カ国で利用できるという。なお、ポリコムのプラットフォームは世界で約40のサービスプロバイダーに採用されている。

一方、新製品やソリューション、買収、提携の他、販売実績の方では、連邦政府のポリコムソリューションの導入拡大もあり、遠隔医療ソリューション「Polycom RealPresence Practitioner Cart 8000」や、Microsoft Lyncに最適化された「Polycom CXシリーズ」などが含まれるという。

セミナー・展示会情報

<国内>

会議の効率化を実現! 『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程: 6月19日(水)、26日(水)

7月の日程もあり。

※全ての日程で13:30-14:30、15:30-16:30の2回開催

会場: NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催: 日本電気株式会社、株式会社NEC情報システムズ

詳細・申込 <http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

【ポリコム主催・体験会】 Polycom Day ~ 最新ソリューションを定期的にご紹介 ~

日時:6月21日(金) 15:30-16:30 (開場:15:15)
 会場:ポリコムジャパン セミナールーム
 主催:ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)
 詳細・申込:
<http://www.polycom.co.jp/company/events/index.html>
 *2013年毎月開催。*6月は、教育市場ソリューションを中心とした内容で開催。*申込は、6月19日(17時まで)まで。

【"見える"カレッジ】 Web 会議サービスの活用法とメリットとは ~スマートフォンやタブレットと Web 会議を組み合わせて業務改革~

日時:6月26日(水)14:00-16:30
 会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)
 主催:株式会社ブイキューブ
 詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/87>

もっと知ろう Web 会議

トレンド&活用法 / アイシーキューブの最新機能をご紹介
 日時:7月3日 15:30 - 17:00 (受付:15:00より)
 会場:キャノンソフトウェア 本社(東京都品川区)
 主催:キャノンソフトウェア株式会社
 詳細・申込:<https://www.canon-soft.co.jp/seminar/details/201305311716.html>

最新テレビ会議システム 体験デー 来て!見て!体験して!

日時:7月11日(木)、7月24日(水)
 *1時間半のセミナーを一日3回実施(同内容)。
 会場:ポリコムジャパン(東京都千代田区)
 主催:株式会社大塚商会、ポリコムジャパン株式会社
 詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/13/0724vc/>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

*イベント情報は、情報が入り次第、随時掲載しています。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2012年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社
<http://www.catalog-square.co.jp>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございます。

今週は、オランダでInfocomm 2013が開催されています。昨今、インターネットやフェイスブックyoutube、ニュース配信サービスなどの普及のお陰で、日本にいなながらも、各社からの製品・サービス発表情報や展示会の様子などが間接的ではありますが、わかるようになり、リサーチャーとしてとても助かります。

次号もよろしくお願ひ致します。 橋本啓介